常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

お食事のデパート
出前迅速
不二屋
電八八六 一七五〇

激しくなった選挙前哨戦

新春を迎えて二月下旬もしくは三月上旬に予想されている衆議院総選挙をめぐつて、立候補を目ざす人々の動きが急速度に活発化し、引続き四月に行われる地方選挙とからんで街々は選挙の噂さでもち切りである、某東京紙の報道によると、四百六十七の議席を狙つてすでに一千百名を越える人々が名乗りをあげていると言うが、わが福島第三区はどうであろうか、噂さにのぼる人たちを拾つてみる

三ツの議席追って 早くも九名が名乗り

三ツの議席を狙つて、先づ上げ潮に乗つている民主党からは、現建設常任委員高木松吉氏(五七)が公認で再出馬することは確定的で、更に自由党の関内正一氏(五八)右社の松井政吉氏(四九)の現役陣は何れも本部公認で出馬と確定、戦斗準備を整えていると伝えられる。その他では前回関内氏と七千票の差で次点に落ちた太田秋之助氏の代りに相馬を地盤として、県議田原徳氏と前回太田氏に譲つて出馬を断念した元代議士鈴木直人の両氏が起意を表明しており、目下公認争いでもみぬいていると伝えられるが、自由党県支部首脳部の意向としては、田原県議を公認に推す空気が強く、一方鈴木氏は東京本部とのつながりから強気に出ており複雑な動きをみせている。

自由党は公認で一波乱

更に保守陣営からは前回一万二千余票をとつて新人の気を吐いた前改進党の小野一雄氏(四〇)が今回は非公認でも民主党から再出馬する意向が強く次に前回一万七千七百余票をとつた立憲養成会の斎藤晃氏も目下のところでは、出るとも、出ないとも態度を鮮明にせず機を窺つていると伝えられている、一方革新陣営からは、前回一万三千余票をとつた左社の大河原一次氏(五〇)の再出馬はほとんど確定的と言われ、更に共産党からは当落を度外視して党勢拡張を狙つて平事件被告の鈴木光雄氏が出馬すると噂され、目下九名の人たちが話題にのぼつている。

定員三名だから、このうち六名は落選の憂を目をみるわけだが、結局最後は、相馬の田原、鈴木、双葉を基盤とする高木、石城の関内松井の五人で三ツの栄冠を争うことになろうと言うのが選挙通の見方である。この五人のうち楽な戦いを進めるのは何んと言つても組織票をもつ松井氏で、当選圏内の一人である。その他はほとんど人気も伯仲で地盤から言つても同格とみられており、唯七万票を有する相馬地区が一人にまとまればこれまた楽な戦いで当確、のこる一ツの席を高木、関内の二人で争うことになるだろうとの公算が大きく、しのぎを削る激戦が予想されるものとみられている。

参考までに前回(廿八年四月)の得票結果をみると

▼五万三千八百二十五票、高木松吉▼五万四百五十七票、松井政吉▼四万八千三百七十八票、関内正一(以上当選)▼四万一千五百三十四票、太田秋之助▼一万七千七百八十票、斎藤晃▼一万三千三百七十一票、大河原一次▼一万二千五十票、小野一雄▼四千二百六十七票、植村御吉

一個が四千万両 市長と議長室に大ダルマ贈る

七日朝諸橋市長さんと金古議長さんの部屋に、高さ二尺の大ダルマがもち込まれ「新春早々今年は縁起がいいぞ」と御両人をひどく喜ばせている、贈り主は農務課員の某氏で正月休暇で群馬県の郷里に帰つた際、全国一のダルマ市と称される群馬県高崎市郊外の上野国少林山の福市からもとめて来たもので、一個四千万両と言う正札のついていた縁起のいい最上もの、願望の叶つたときに黒目をつけるのだそうだがさしずめ四月選挙が済んだころ黒目となる公算が大である。さきに川和徳一さんから「サンショー魚」を贈られ、次いで旧ろう中に「タヌキ」を寄贈された金古議長さん、「これは縁起がいい、七転び八起きで今年はいい年だぞ」と一入の喜びようだつた。

常磐市へ分割合併 磐城市泉田部落で再度陳情

磐城市から分離して、常磐市に合併したいと再三合併陳情を行いその成行きを注目されていた、旧渡辺村泉田部落(二十六戸数、二百五名)では、六日更に同部落代表五名が常磐市役所を訪ね、分割合併実現方を陳情した。

泉田部落は精米は常磐市磐崎農協、供米は磐城市渡辺農協に納めているという状態にありまた部落の小中学生は約一キロもある渡辺小、中学校へ通学しているが、常磐市に合併されれば約半道の磐崎小、学中校へ通うことが出来るなど地理的、経済的にも常磐市に合併することが至当であると言うもので、同部落では再三部落民大会を開いて協議した結果、強力に分割合併を推進することになつたもので、旧ろう中から常磐、磐城両市に部落の実状を訴え、その協力を要望していた。

なお常磐市側では「磐城市総務委員会で泉田部落の分離を認めれば直ちに常磐市に合併する」態度を明示しているが、磐城市がどう出るかは注目されている。

齋藤教育長勇退 三十四年間の吏員生活と訣別

磐城市教育委員会教育長斎藤昇一氏(五二)は先程より一身上の都合で辞表を提出中だつたが、勇退と決した、

氏は大正十年六月小名浜町役場雇を拝命、衛生、学務経済、学制改正による、初代教育長等と歴任、特に経済課勤務中は戦時中でもあり、種々の配給、或は統制事務、火葬場設置、小名浜高校県立移管、二中校建築等に尽した其功偉大で、今回の勇退がおしまれている、当の斎藤氏は町役場当時から三十四年間大過なく、務めさして頂き感謝にたえない、特に鹿島三部落の学生委託の件については、教育上のことゝてと当時をしのび、感無慮の態でもあり、今後は当分野人として静観したい、何分よろしく、と語つた

青年の辯論大会 九日磐城市で開催

常磐市連合青年会、公民館共主催で九日午後一時から、中央公民館で磐城市青年弁論大会を催す

石城PTA合同協議会

平市、磐城市、石城地区PTA連合合同協議会は十日午前十時三十分から平第二小に於て開き、左の事項を協議する、三十年度教育予算確保に関する件、教育会館建設寄附に関する件、其の他、

磐城市農委

磐城市農業委員会では八日午前九時から市役所会議室で工場敷地買収等について協議会を開く。

消防協議会

石城郡下警察、消防協議会は十一日午前十一時から平消防署で開く

鈴木氏勇退

磐城市第三保育所長鈴木菊彌氏(五三)は此程勇退後任に前警察署長鈴木龍之氏が着任した、

学校劇の研究会

いわき学校劇研究会では県教委出張所と常磐市教委会の後援で来る一月九日午前九時から常磐市湯本第一小学校講堂で学校劇研究会を開く講師は児童劇作家協会長斎田喬氏、上演するものは、①童話劇「ひなたぼつこ」(湯本一小一年)、②舞踊劇「おかしの家」(湯本二小三年)③童話劇「にわとりのとさかはなぜ赤い」(夏井小演劇クラブ)、④人形劇「魔法の梨の木」(御厩小四年)、⑤生活劇「新聞部員」(四倉小五年)、⑥同「やま寺」(泉小演劇クラブ)、⑦学習劇「森林の保護」(湯本一小五年)、⑧生活劇「新しい友達」(平三小六年)、⑨生活劇「赤い小箱」「湯本二中演劇クラブ」、◇会費は一人百円、児童一人二十円、(但しいわき学校劇研究会員五十円)、◇研究討議として学芸会の在り方。

鈴木省三氏

磐城市江名町字南町土建業合資会社鈴木工務店主鈴木省三氏(七三)は永年中風で病床中だつたが五日午後二時自宅で逝去、七日午後葬儀を行う。

天気予報

(今晩)北西の風一時やゝ強く晴一時曇りの天気でしょう
(明日)西寄りの風晴後時々薄雲がひろがりましょう
(海上)今晩まだ風波やゝ高く明日も風波高いでしょう

出生死亡

(六日届出敬称略)

出生=立町製油工松田鉄夫長男晃、月見町重役清水久太郎長男俊則、下川原土木請負業司馬千年長女利子、桜町庄司弘、胡摩沢外務員鈴木博二女幸子。

誰方でも安心して使える ふくふく綿
2丁目 平製綿KK 電748 1958

割烹 開花 田町 電一三九

スガタ靴支店 平信販指定店 チケット 平市二丁目

割烹 湖畔 仕出し 平市大町電637

宅地譲ります
◎一〇〇坪余 ◎分譲も致します
姓名在社

セイパンニュース No 101
新年おめでとう御座います
昨年中は色々有難うございました 今年も皆様に安く良い品を沢山取揃えて居ります 皆様のセイパンをお忘れなく

今週の特売

高級デセール	一〇〇匁	七五円	六五円
切りカステラー	〃	九〇円	七〇円
卵パンカステラー	〃	六五円	五五円
落花せんべい	〃	七五円	六五円
チソパン	〃	六〇円	五〇円

特売以外は一割引サービス券進呈
パンとオヤツの店 平製パン 鍛冶町 電二一 一一五七

キャンデーセンター開設
倚平和通りに直売所パンと牛乳の店を設けましたから映画のお帰りなどにどうぞお立寄り下さいませ
パンと牛乳の店 クロバー 平市平和通り TEL一八七〇

洋服 既製服と背広生地と洋品
冬の装いは当店から
株式会社 鈴木勘氏商店
平市1丁目電1638・平和通り電732

1955年 新春第一回 8日→10日
土日月大奉仕

商品券 贈つて便利受けて重宝

全店
防寒肌着大特売
既製服大廉売
新安値当日発表
鐘紡ワイシヤツ祭 絹石鹸進呈

平支店
殿方オーバー 5000円以上1割引
純毛婦人セーター 580円・600円・800円 1000円・1500円
年賀に好適な仕立券付ブロード地をその他年賀用品を豊富に取揃えました

本年も倍旧の御引立を御願い申し上げます
皆様の利益を護る店
大黒屋
平本店 平支店 金坂店 湯本店 小名浜店

住家四戸を全焼

高久 非住家一戸を半焼

六日午後八時三十分ころ平市上高久字片岡農業大和田義美さん(四三)方同居人大和田義男さん(四四)のかまど附近から出火、同家一棟一戸二坪を全焼し、更に隣家の大和田義美さん(四三)方住家に燃え移つて同家一棟四十七坪と大和田正一さん(六二)方住家一棟一戸四十坪、永山佐藤平さん(六三)方住家一棟一戸三十九坪を全焼土蔵一棟十一坪を半焼して十時三十分ころ鎮火した

原因はかまどの残火が横にあつた薪木に燃え移つたものらしく平署と平消防署で調べ中であるが約八百万円の損害を被つた、

平でも一戸焼く

六日午後三時四十分ころ平市中神谷字瀬戸磐城セメント工員志賀利忠さん(四四)方母屋から出火一棟（十二坪）を全焼し同四時三十分鎮火した。

原因は妻二九三さん(四〇)がすすはらい中いろりの火が近くにあつた藁に燃え移つたもので、損害約五十万円。

盗犯の半分は少年

内郷署の犯罪統計

二十九年に内郷署で扱つた犯罪は元日におこつた宮町ダンスホールの刺殺事件と十月下旬綴町でおきた精神異常者の実母殺しを含めて殺人事件は五件強盗が三件でいづれも解決、強喝、傷害、放火が計八十三件で検挙数八十二　未検挙は宮町の放火事件だけである、盗犯は千五百三十一件と多く、千四百四十六件が被疑者の検挙から解決している、此のうちの五四%が少年で占められているのも内郷という特異な境を物語るに充分で地域的には金坂方部の四百三十五件を筆頭に宮の二百十八件、綴の百七十五件がこれにつゞいている。

ポン少年の盗み

内郷署では去る十二月中旬内郷市内町浜井場無職少年K(一九)を窃盗の疑いで捕まえ取り調べていたがKはポン代に困つた揚句十二月十五日午後十一時ころ同市前田常磐炭砿内郷病院に侵び込み、同院事務室から現金、注射液など七千円相当を盗んだのを始め、同月二十五日午後九時三十分ころ内郷市役所横田中電線工場内からコード線五十キロ、中古ラジオ一台一万八千五百円相当、

更に二十七日午後十一時四十分ころ同市高坂町一の坪二八玉木商店方店舗に侵入して背広、腕時計現金を合わせて三万三千円を窃取するなど甚だしい時は一晩に三件の盗みをやり、件数も十数件時価十二万円相当を盗み歩いていたことが判明し、六日内郷署から手長少年第一号として身柄送検された、

二人組の自転車ドロ

磐城署では五日窃盗容疑で逮捕した磐城市字神渡無職渡辺勲(三九)同市字池袋左官渡辺八郎(三三)の両名を七日身柄送検した

両名は共謀の上五日午前二時ころ同市字隼人海産物店吉田由明さん方から同人所有の新品自転車二台時価三万二千五百円相当を窃取したもの、

コンニヤク組合創立

浜通りコンニヤク組合創立総会が十一日午後二時より植田町みどり料亭で開かれる、これについて発起人の一人小沢商店社長小沢栄太郎氏が語るには過去に於てはコンニヤク植田組合があつて全国一々も称せられ、原料商の出入当時ではコンニヤクの植田とも称せられたところもあり、此の衰微が残念とあつて其の再起を計ることになり小沢栄太郎氏（勿来小沢商店社長）大谷泰次郎氏、大泉信夫氏（平）等が発起人となり、其の機も成つたので、今回の創立総会となつたもので其の発表が期待されてる、

平職安便り

七日現在

「男」▽外務員（多）郡内（二〇―四〇）通、三千円外歩合▽店員（多）郡内（一八―二八）住、二千円▽農夫（多）北海道（一八―四五）住、四千五百円外歩合醸造見習（一）平（一六―二〇）住、年二万円▽製材工（一）内郷（二五―四五）有験者、通、日収三百円―三百五十円▽雑役（三）内郷（一八―三〇）通、日収二百三十円▽配達夫（一）平（一六―二〇）通、日収百六十円▽集金人（一）平（一六―二〇）通、日収百五十円▽小型自動車修理（一）磐城（二三―三五）有験者、通、八千円から一万二千円▽板金見習（一）平（一五―一六）住、九百円▽左官見習（一）磐城（一五―二三）住、三千円▽印刷見習（一）平（一四―一八）通、三千円から三千五百円

目耳

▽五日午後七時十五分ころ、平駅待合室にグリーンのセーター、黒のスカート、首にスカーフを巻いている一寸ふめそうな女性が姿を見せたと思うと売店ワキにいた子供を背にしている御婦人めがけてつかつかと歩み寄り、いきなり平手で両方のホホを激しくたゝいた驚いたのは当の被害者で「何をするんです」と金切声をあげた為、折から列車待合せ中の人達がグルリと二人を取りかこんでしまつた

目町一 質 田山

▽「きつとメカケと本妻の争いだ、これは見ものになるぞ」と高見の見物をやらかす人も出て、待合室は時ならぬ二人の女の争いに湧いていた、

▽しかし此の二人、メカケでも本妻でもなければ、知人でもない赤の他人で、加害者は一寸月おくれ的傾向のある脳味噌の特ち主、今から約三年前頃、ほれてほれられて結婚して一児までもうけ夫婦の仲はハタの目もうらやむ程であつたが、愛し子が不図した病で仏になつてしまつてから急に夫の態度が変り、遂に離婚するまでになつてしまつた、

菓銘 大段羊羹 平凡

▽以来彼女は一児ある若夫婦をみると、殴りつけたくなるというのだが、聞くも涙、語るも涙の物語りは、平駅からもち上つたようだつた、若夫婦諸氏よ思ひ出せ教育刺語の「夫婦相和シ」を、そして浪曲界の重鎮、綾太郎の一節「妻は夫をいたわりつ、夫は……を……、

〝とそ〟氣分

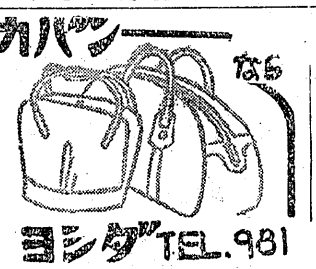
街のこぼればなし

◇おとそ気分の新年二日午後三時ころ、平市内A食堂に居た内郷市綴町某さん(三八)は斜向いの卓に陣取り小鶴だとか藤村ぐらいが良いとか、大下がスタンダードだとか盛んに話をはずませている数名の女学生をみていた、

◇彼女らの唇を出てくる名前はどれもプロ野球界の有名選手で、ホームランバツターであることに気がついたのは、注文のカレーライスの三分の一を食べ終つたころだと彼はいうが、最初はどこかのソフトボールの選手なんだな、と思つて彼女らの話に耳を傾けていると、

◇「でも余りとばし過ぎると毒ぢやないの」とか、「私達の年令から考えると小鶴では多すぎるようだわ」などと甚だ不可解な言葉が飛び出して来た、なおも彼女らの談議は続くが声が一段ひくゝなつた、

◇エンゲージセンターの場合は矢張り大下あたりが無難だと思うわ、だけど、年中ナイターなんだから……、」？、聞けばきく程わからなくなつて来た某さんはその食堂になぞを残して出て来たが、



◇帰宅してじつくりと考えた彼の脳裏にハタとヒラめいた何ものかがあつた、それは―高校生の桃色遊ぎである、そう言えばベープルース、打つ、とナイターのどれもが直ぐにピツタリ結びつくものだ、つまり彼女らはセツクス話の隠語にベースボールマンを当て、ホームラン数はある期間を通じての彼女らが欲している回数であると彼は解いたが果してそうか？

◇こんな事ならせめて学校の校章でも見てくるんだつたと、現在のアプレ娘気質に一種の憤りをもつている彼のポヤクことポヤクこと……。

◇＝＝＝◇

◇＝＝＝◇

謹賀新年
平交友會
会員一同

カバン――なら
ヨシダ TEL.981

謹賀新年

特賞に輝く
油醤噌味養栄
塩屋
平市古鍛冶町 TEL10

福島県クリーニング
協同組合平支部
組合員一同

看板と
ネオン
平AD社
土屋正二
平市白銀町（駅前）TEL1300
工房　市外小島（三ツ又）

東京文化服装学院連鎖校
高等学校教職員免許指定校
公認
平高等洋裁學院
院長 山崎啓哲
平市一町目角 TEL1326

指定精神病院
新田目病院
院長 新田目五郎
平市才槌小路二四番地 TEL一五番

年新賀謹
壽百貨店
平市駅前 TEL656・1764

階上
スマートボール
設備
皆様の殿堂
王將
平市三丁目30

年新賀謹
三井呉服店
平市3町目TEL284・1248